

第11号

2007年6月1日発行



Community Currency Toda Oar

TODA オールネット

出合い ふれあい 支え合い

地域通貨

戸田
オール

<http://www.toda-oar.net>

Tel&Fax.048-421-3709

地域通貨戸田オール運営委員会

戸田市ボランティア・市民活動支援センター内

335-0022 埼玉県戸田市上戸田 1-18-1

戸田市役所敷地内

前期の反省と今期運用へ向けて

皆様のご支援に感謝 P.2

エコライフ DAY に向けて 戸田農園

..... P.3

支援センター登録団体紹介

NPO法人 まち研究工房 P.4

戸田オール協賛店

協賛商店の話と参加店一覧表 P.5

学校訪問

戸田第二小学校 校長 加藤正明氏 P.7

町会訪問

芦原町会 町会長 小川秀雄氏 P.8



チョウジソウ (絶滅危惧種)

TODA オールネットとは.....

次号は2007年9月15日発行予定です

戸市内全域を対象に行う地域通貨戸田「オール」を幅広く皆さんに理解していただくために発行するものです。もちろん、それだけではなく各市民活動団体の活動状況、また市役所など公的機関からの告知、各地区ごとのちょっとしたニュースをご紹介します媒体です。戸田市役所コミュニティ推進課と各町会の御協力により、市内全戸配布を行います。

私たちは、この「TODAオールネット」が、皆さんの生活をもっと楽しくするよう戸田市のタウン紙になるよう頑張ります。カラー版のオールネットが <http://www.toda-oar.net/> メニュー「TODAオールネット」からご覧頂けます。

平成19年度運用に向けて

徐々に市民活動団体で活用されるようになってきました。なかでも、エコライフDAYとだ実行委員会の環境家計簿による地球温暖化防止活動が、戸田市で初めて「第8回さいたま環境賞・県民大賞」を受賞しました。

昨年度は、戸田市ボランティア・市民活動支援センターに事務所を移転し、オール券の発行・旧券引換等の事務をお願いしました。また、同センターの事務機もオール券で使用できるようになりました。また、戸田オール基金はオール券により市民活動活発化を支援しています。

皆様のご支援に感謝申し上げます。

前期の運用について

1. オールの発行状況

10 オール	8,969 枚
100 オール	2,673 枚
合計	11,642 枚

2. 主な活動内容

戸田市商工会と協働により、「お仕事体験隊」の実施

戸田市市民活動推進委員会等と講演会共催
ふるさと祭り実行委員会との協働による清掃ボランティアの募集

戸田市ボランティア・市民活動支援センターとの協働

戸田ライオンズクラブとの協働による笹目中学校地域ふれあい体験学習講座の開催

菜種油エコプロジェクトの開始

戸田オール基金によるオール券での支援
7団体10オール1,300枚 100オール616枚

TODAオールネット第8号～10号発行
大学からの調査・視察対応

委員ブログの開設

委員が交代で毎日書き込んでいますので、皆様の訪問をお待ちしています。ホームページ <http://www.toda-oar.net/> の委員会ブログよりお入りください。

個人・法人・団体での「戸田オール」発行企画を募集しています～オール基金～

地域通貨戸田オール運営委員会では、「オール基金」と題して、地域通貨「戸田オール」を発行する企画を募集しています。こういうことをしたい、ああいうことをしてみたい……それが、地域社会、地球環境、子供の未来、国際理解などへの貢献だと思われるも

今期の運用

1. 期間

平成19年4月1日から20年3月31日の1年間皆様と一緒に楽しい企画・活用方法を構築していきたいと思っておりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。

2. 旧券引換

期限切れのオール券はお早めに新券と交換いただきますようお願い致します。交換は戸田市ボランティア・市民活動支援センターで取り扱っております。

3. 目指す目標

- ・安全・安心な住み良いまちづくり
安心して子育てができるまちづくり
水と緑かがやく、快適なまちづくり
- ・効率的・効果的な行政経営への市民参画
- ・福祉・環境・教育・文化・地域経済について、市民・団体・商店・企業が協働して課題を解決していくうえで、人と人をつなぎ、団体をつなぎ、住み続けたいコミュニティ活動の道具として活用される。

4. 重点項目

団体間のつながり、人と人の絆を拡げていくツールとして頼りにされる地域通貨となる。
ボランティア・市民活動支援センターを核として、市民活動を楽しく活発化する協働スキームを構築する。

5. 具体的施策

- 戸田市ボランティア・市民活動支援センターや戸田市市民活動支援サイトとの協働
- 戸田市市民活動推進委員会・支援センター運営委員会との協働
- オール基金の活用
- 個人会員の増強
- オールを活用して市民活用団体をつなぐ
- 協働スキームの開発
- オールネットの発行
- 行政・町会・商店会への働きかけ
- ふるさと祭り、商工祭等でのふれあい市の開催
- 運営委員会の組織強化

のに、協力をしたいと思っています。「謝礼」というと、堅苦しいものになりますが、「戸田オール」を使うことで、心と心を交流させてみませんか。

企画書(ホームページからダウンロードできます)に所定事項を記入の上、事務局までご提出ください。内容を審査の上、認定後オールを発行することができます。皆さんの企画を楽しみにお待ちしております。

18年度 戸田オール基金利用実績例

- TODAジュニアサポートネットワーク・ジュニサポフェスタ.....謝礼
- 高齢者の健康作りと生きがい作りの会.....都市交流実験
- 「いきいき虹の会」講師・託児ボランティア.....謝礼
- 戸田東小PTAフェスティバル.....キッズボランティア謝礼
- 高齢者の健康作りと生きがい作りの会.....菜種油エコプロジェクトのイベント手伝い謝礼
- 戸田市ボランティア・市民活動支援センター.....支援サイト登録者に贈呈
- 戸田市ボランティア・市民活動支援センター.....サイト訪問2万人目贈呈

今年もエコライフDAYにご協力を!

6月は環境月間です。環境問題、特に地球温暖化には関心をお持ちの方が多くなっているのではないのでしょうか。最近の季節がおかしい、台風や低気圧が異常に荒々しくなっているといった身近な季節変動を実感することも多くなっています。前のアメリカ合衆国副大統領のゴアさんの活動が『不都合な真実』という本や映画になっています。戸田市内でその映画を自主上映しようかという企画もありましたが、地域通貨戸田オール運営委員会でも菜の花エコプロジェクトやエコライフDAYに協力して、地球温暖化防止活動に取り組んでいます。先日はその菜の花畑の見学に、てんぷら油の廃油(BDF)で走る車で地域間交流に行ってきました。小中学校でてんぷら廃油を地域通貨で収集し、リサイクルする事業化を計画する動きもあります。ペットボトルにてんぷら油の廃油を入れて回収、地域通貨を交換するという仕組みです。また、エコライフDAYとだ実行委員会は、昨年度の市内の参加者が2万人を超えたことや、謝礼に地域通貨を小中学生に配るなど、そのユニークな

活動が評価されて、第8回さいたま環境賞・県民大賞を埼玉県からいただくことができました。これもひとえに皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。



小中学校で交換される地域通貨も小学生たちには、お年寄りが作る竹とんぼやお手玉といった昔懐かしい玩具やおいしい食材のてんぷらなどとの交換会も定着してきました。中学生には新たに「エコライフとだ環境基金」への地域通貨での寄付をお願いしたいと思います。

今年のエコライフDAYは6月10日の日曜日です。エコライフDAYを契機に、地域通貨を活用した、廃油のリサイクルや地域間、世代間の上手い交流が動き始めようとしています。エコライフDAYのテーマは昨年同様、レジ袋の削減に加え、今年は「エコドライブ推進」です。ぜひ、親子そろってのご参加をお願い申し上げます。(山中)

地域通貨戸田オール運営委員会が企画した菜種油エコプロジェクトの今



昨年9月24日25日に福島県白河市大信地区へ現地調査に行った。現地の方々と交流会を重ねた結果、戸田農園が開設できた。年が変わり本年2月に看板を委員が作成した。雪の中、



別の委員が仕事の合間を利用して現地へ運び、後日、大信庁舎のご好意で天気が回復してから立てられた。

雪の景色など友好都市大信に戸田農園の看板が設置されるまでをまとめた。

4月24日に仕事の合間に訪れると花が目立つ、菜種油の募集に賛同した方々に、10月頃にでき上がる、途中経過の満開の戸田農園を見ていただきたいと強く思う。

そこで5月11日（金）開設した戸田農園へ菜の花を見学に来種油エコプロジェクトの一環として、地域間交流資金を申請しての見学会を企画した。



参加者は地域通貨戸田オール運営委員4名をはじめ、オールネットで申し込んだ方7名の総勢11名であった。車は委員の自家用車とSOHO組合所有のてんぷら油の廃油（BDF）を燃料とするディーゼル車の2台。

好天に恵まれ、白河市役所大信地区庁舎の課長をはじめ、農家の皆さんとの交流もでき、有意義な1日だった。

わさびと言えば、山間のきれいな水の流れるところを想像すると思いがちだが、なんとびっくり、大信のSさんは畑の中で栽培。日本では珍しい。

昼食は、地区内の食堂で山菜料理。山菜のお浸し、ゴマ和え、梅肉和え、天ぷらにタケノコご飯、更に味噌汁が美味しかった。また、お願いした凍餅（しみもち）も用意していただき、参加者は喜んだ。凍餅は山ゴボウの葉を草餅みたいについたもので茶色をしていて、すりごまをまぶしたものです。（水内）



市民活動支援センター登録団体紹介

NPO法人 まち研究工房

代表理事 金田好明さん



“戸田のまちづくり”において熱い取り組みを行なっている『まち研究工房』代表理事金田好明さんにお話を伺いました。

まち研究工房さんが、今最も力を注いでいるのが『おやすみ処』。『おやすみ処』は、まちを歩いている人々が疲れたとき気軽に休めるコミュニティスペースとして市内の空閑地や商店・施設前に、木の温もりあふれるベンチを設置しており、毎日たくさんの方が利用しています。なお、この『おやすみ処』普及活動は、内閣官房都市再生本部が募集している平成18年度全国都市再生モデル調査事業にも選ばれていました。

「お年寄りが歩いていて、辛そうだった姿を見て」と設置のきっかけを話す金田さん。思いやりの気持ちから始まった『おやすみ処』は、“憩いの場”にとどまらず“防災”にも用途が広がっています。ベンチ下に携帯用のトイレやロープ、非常食等の防災グッズを収納し、雨水を有効利用する貯水タンクも設置されています。また、『おやすみ処』は100メートル間隔で設置していく目標なので、災害時に避難

する人にも分かり易いように避難場所の案内表示を併設したい意向もあるとのこと。

「今はおやすみ処の安全面の管理や、そのためのスタッフや活動資金確保の体制づくりが当面の課題ですね」と語る金田さんですが、今後は、行政との協働はもちろんのこと、市民・市民団体、『おやすみ処』のコンセプトに関するさまざまな分野の応援企業や事業者の人たちとの公益な関係をつくりながら、課題を解決していきたいとのこと。

また、『おやすみ処』を設置してくださる店舗等の方が増えているので、その方々同士で集まる機会を設け、お互いの情報交換を行い、協力店間でポスターを貼りあう等、新たなネットワークのコミュニティが生まれていくことを期待しているとのこと。さまざまな取り組みのうちの1つとして、地域通貨戸田オールを利用した仕組みも考えていきたいという抱負も。コミュニティを大切にしながら、多面的に積極的に考え、そして行動する姿勢に金田さんの熱意が伝わってきました。

「市民と行政とで協働しながら、次のまちづくりを担う人々を育てていければ」と熱心に話されていたのがとても印象的でした。『まち研究工房』さんの取り組みにより『おやすみ処』は、今後、より一層市民にとってやさしい場所となることでしょう。

（大森・矢作）

地域通貨戸田オール協賛店にお伺いしました

市内の中小商店で組織している、戸田市商店会連合会と戸田市商業協同組合では、戸田オール事業への協力と市内商業振興のため、戸田オールがお買い物に使える(10オール10円、100オール100円で利用できる)「協賛店」を設置しています。

今回、その協賛店にお話をお伺いしました。

萬屋本店(酒食料品・笹目)池上幸夫さん



笹目地区は「地域通貨に取り組んでいる町会や学校がある関係で戸田オールの流通量が多い」とのことです。池上さんは美笹商店会の会長も務めており、「商店会では、さくら祭りや秋祭りのイベント時にも地域通貨が使えるようになっていきます」とのこと。今後商店会としても、地域通貨が使えるイベントを考えていきたいとの事でした。

魚洋(鮮魚・本町)高山静子さん



「お客様が戸田オールを持って来られたので『どこでもらったの』と聞いたら、『ボランティアでもらった』ということでした」と高山さん。戸田オールを持ってこられたことにより、お客様とのコミュニケーションのきっかけになっているようです。「市民

活動が盛んになって、多くの方に戸田オールが発行されるといいですね。」との事でした。

うな仁(うなぎ・川魚料理・上戸田)新井裕子さん



「戸田オールをお持ちになる方は、ボランティア等に協力された方なので、積極的に声をかけるようにしています。従業員に対しても、戸田オールを持ってこられた方へきちんと対応する様徹底しています。」とのこと。お客様とのコミュニケーションに役立っていました。

ふたばストアー(コンビニエンス・新曽)

小林正博さん(左)・矢島稔充さん(右)



「『戸田オールが使える?』と高校生に聞かれて『使えないよ』と応えたら、とてもがっかりしてしまった」とのこと。戸田オールカードのポイント発行を始めて、協賛店に参加しました。「高校生がボランティアに参加してせっかくもらったのだから、使える方が良し、協力したい。」との事でした。

お伺いしたどのお店でも、地域通貨戸田オールをきっかけとして、声がけや話かけなどのコミュニケーションに役立っているようでした。(園田)

地域通貨戸田オール協賛店一覧

平成19年6月現在

喜沢1丁目商店会			本町商店会		
鳥さだ	441-7838	焼鳥	魚洋	444-8551	魚
菓子処 笹州	445-4868	和菓子	ファミリーマート田中上戸田店	441-5316	食品・雑貨・雑誌
カラーのいちのせ	442-4634	写真	蒲鈴かまぼこ店	441-3966	蒲鉾・おでん種
コーヒーショップ カフェ エトルア	444-7806	喫茶	(有)ガルボ 戸田本町店	433-1243	クリーニング
サロンド・メモリー	446-1740	美容	セキスポーツ	441-5187	スポーツ用品
菅沼化粧品店	441-6516	化粧品	太宝堂	443-4781	メガネ宝石
ハラパン 戸田店	442-9644	パン	銘菓 きたや	443-1902	煎餅小売
まるたけ食品(株)	441-5314	米穀燃料	シマ美容室	441-3110	カット・パーマ
きそば 花園	442-3857	そば天ぷら	小山園	441-7938	茶
フランスヤクリーニング	444-2402	クリーニング	メンズショップ ナガシマ	443-5295	紳士洋品
生鮮館 世界市	432-9211	スーパーマーケット	白田屋酒店	443-9679	酒類・食料品
喜沢公園通り商店会			上戸田商店会		
かめやストアー	442-3956	酒・食品	アイメガネ 戸田市役所前店	444-0001	メガネ・コンタクト
大成堂薬品	441-2140	医薬品	うなぎ	443-8530	うなぎ・川魚料理
山田屋鳥肉店	444-8208	鶏肉卵	金子商店	441-2823	米・酒・食料品
トップクリーニング はせがわ	442-4917	クリーニング	ファゼンダ18 上戸田店	442-7490	コーヒー豆
喜沢中央通り商店会			(有)三京	441-0530	呉服・和装雑貨
日坂輪業	441-3862	自転車	上戸田 松栄庵	444-8888	そば・うどん
金子洋品店	445-6123	洋品	寿司和	443-2600	寿司割烹
三光クリーニング	442-4089	クリーニング	寿司善	442-6226	寿司
クリーニング富田商店	442-3484	クリーニング	(有)曾根商店	441-9150	酒・食品雑貨
千成寿し	441-5802	寿司	野の花屋	432-8387	生花・雑貨等
チューリッヒ	444-7769	婦人服	(有)まるこう青果	445-8404	青果
長谷川サイクル	443-1663	自転車	ハンコ卸売センター 戸田店	433-2226	印鑑・ゴム印
(株)半田商店	442-1212	梱包資材	御料理 一会	447-0018	飲食
角萬酒店	441-2780	酒・タバコ	百歩ラーメン	445-1139	百歩ラーメン
佐藤酒店	441-5943	酒・食料品	本橋園	445-6541	お茶
(有)武内商店	441-2612	米穀燃料	戸田サクラ歯科	431-8841	歯科
鉄板焼 和	444-3803	鉄板焼	竹屋商店	443-1333	お茶・陶・ガラス器
(株)ヨダヤ商店	442-5388	酒・食品	クロ豆	433-5644	喫茶店
花昇	441-4257	切花植木	新嘗新田口商店会		
(株)稲川	442-5050	ガーデニング	アイムクマキ	441-2289	雑貨燃料
豆富旬菜 いなだ家	442-4112	飲食	遊眠館 iTO	441-4105	寝具
串田商店	441-7762	白衣・名入タオル	(有)ガルボ 本店	444-0244	クリーニング
くすりの和光堂	442-4601	医薬品雑貨	(有)ガルボ 戸田駅前店	447-2441	クリーニング
中町商店会			美笹商店会		
安藤カメラスタジオ	442-3935	写真・撮影	石塚商店	421-6088	青果
タカギクリーニング	443-3450	クリーニング	いそざき精肉店	421-5355	食料品
池田魚店	441-5710	魚仕出し	伊藤洋品店	421-3604	衣料品
亀鶴	441-4680	日本そば	(有)こくや林商店	421-4141	酒総合食品
手川商会	442-2930	クリーニング	(有)総合衣料 イケガミ	421-3199	呉服洋品
(有)かじ兵衛刃物店	443-0095	金物販売	鍋屋植野屋商店	421-3012	食品
野村米店	441-3211	米麦	銘菓きたや 笹目店	421-6487	煎餅小売
新生堂	441-6784	事務機械	(有)谷口屋奥墨酒店	421-6812	酒雑貨
サラダ館戸田中央通り店	447-9053	ギフト	(有)山宮商店	421-7058	米・酒
戸田中央商店会			(有)萬屋本店	421-3007	酒塩たばこ
田口屋青果店	441-3877	青果	(有)吉寿屋酒店	421-0824	酒
(株)ナガイ	441-2747	酒	寿洋品店	421-2293	洋品
味見	444-7658	中華料理	その他		
千石青果	441-4070	果物・野菜	喜沢地区		
和菓子のゆづき	431-8330	和菓子	中酒店	442-2680	酒・食料品
(有)M's(エムズフラワー)	433-8710	生花	本町地区		
はなふじ	432-6587	生花	壽屋豆腐店	441-0214	豆腐
さつき通り商店街			お茶の芳せん	444-7920	茶・のり
宝石・時計・メガネのクサカベ	441-5719	宝石・カネ・時計	上戸田地区		
グリーンハート たなか	442-2881	食品・青果	(有)マルサン石油	442-6931	ガソリン・オイル
(有)古河屋	442-4754	事務用品・文具	新嘗地区		
ふとんのスズキ	442-4278	ふとん・綿毛布	ふるほんしまや	432-6866	古書
多加良寿司	441-9871	寿司	コピニ&青果のふたばストア-	432-9879	青果・食品
花ふじ	443-7497	生花	笹目地区		
			(有)誠文堂	421-3574	事務用品
			宮沢酒店	421-5228	酒・食料品
			(有)須田商店	421-1905	青果

学校訪問「おじゃまします!!」 Vol.6

戸田市立戸田第二小学校 加藤正明校長



戸田第二小学校（通称：戸二小）はここ数年、児童数が増えて1000人を超えました。そんな

戸二小を訪問してきました。

戸二小といえば、「ホタル」です。以前からあった戸二小のエベレスト（校庭の隅にある小さな土の山）に芝生が植えられ、新芽が青々と茂り（手入れも行き届いて）、まるでゴルフ場のようです。その奥にはピオトープがあり、緑におおわれ、小さな川が流れています。実はここにホタルが生息しているのです。ホタルは7月中旬から7月いっぱい見ることができるそうです。校長先生お勧め、戸二小のホタルを一度見に行ってみませんか？（夜7時～9時頃が見頃だそう）

もうひとつ、戸二小は自校式の給食になって3年。給食室と一緒にランチルームのある新校舎が作られました。ランチルームとは、200人を収容できる大きな部屋です。給食を通して、いろいろな人と交流ができるのです。地区別とか、違う学年とか、組み合わせは様々です。1か月ごとに組み合わせを変えて一緒に給食を...なんだかとても楽しそうです。

最後に校長先生は、戸二小の子供たちの安全が保たれているのは、地域の見守り隊のパトロールのお陰だとおっしゃっていました。これからも地域と共に、より素晴らしい魅力ある学校にしていってください。（高本）



ジュニサポフェスタ2007 ~助け愛が大きな夢へ~ IN 芦原小学校

戸田市内の中学生・高校生を中心としたボランティアグループ・TODAジュニアサポートネットワークでは、市民のみなさんに戸田市内でのボランティアや市民活動について知っていただき活動に参加するきっかけにしてもらうことと、自分たちのまちについてよりよく知ってもらい戸田の魅力を再発見してもらうことを目的として、毎年夏に「ジュニサポフェスタ」というイベントを開催しています！

今年は会場を児童センターから芦原小学校へと変え、内容もさらにパワーアップしました。

みなさん是非、夏の1日をジュニサポフェスタでお過ごしください

日時 7月29日(日) 12:00～17:30

会場 戸田市立芦原小学校 2階オープンスペースおよび1階アリーナ

主催 TODAジュニアサポートネットワーク

共催 戸田市立芦原小学校

内容 ステージでの各種団体の発表（バルーンアート・ミニコンサート・プラスバンド・ダンス・南京玉すだれなど）

模擬店（フランクフルト・焼きそばなど）

市内ボランティア団体による展示・体験コーナー

工作・ゲームコーナー

芦原小学校による児童の作品展示

お茶会・彩の国物産展など

（内容は未定ですので、予告なしに変更になる場合があります）

【お問い合わせ】 戸田市立芦原小学校

048-420-2226 担当 本橋



町会めぐり、人めぐり Vol.11

～芦原町会長 小川 秀雄さん～

“まち”も“人”も元気です



芦原町会にはJR
埼京線の北戸田駅や
平成17年4月に開
校した芦原小学校が
あるなど、市内でも
発展著しい地域の1つです。このため、地名の由来となった「芦が生い茂る原」であった昔の姿は、今では想像することも難しいほどです。まちの姿が変わりつつある中で、良好な地域コミュニティづくりに取り組まれている芦原町会の町会長である小川さんにお話を伺いました。

昨年、町会会館を建て替えるとともに、設立35周年を迎えました。「それでも芦原町会は、新しいほうだと思います。私がここに住み始めた30年くらい前は、20世帯くらいしかなかったんですよ」と小川さん。今では風景も大きく変わり、多くの方が暮らすようになった芦原町会の特徴の1つに「40代の町会役員が多い」ことを挙げられました。「共働きの子育て世代が多いため、皆さん、とても忙しいんですね。それでもソフトボール部を設立したり、積極的に防犯パトロールに参加してもらっています。ですから、できるだけコミュニケーションを築く機会を多くつくりたい

と思っています」と話されました。特に「納涼祭り」は、多くの人が集まるイベントで、日頃から太鼓を練習している子どもたちがその腕前を披露するなど大変にぎやかですが、町会員だけで櫓を組み立てるなど、事前準備の段階から、すでにコミュニケーションが始まっています。

また、町会の独自事業だけでなく、芦原小学校や市民活動団体との協働事業についても積極的に取り組まれています。昨年は、避難場所に指定されている芦原小学校において実施した避難所体験『防災キャンプ』に協力するなど、地域全体の連帯感を強めることにも力を入れているそうです。

地域通貨戸田オールについては、使うことのできる商店が近くにないこともあってか、「今まではあまり利用はしていないですね。しかし、とても良いものだと思いますから、これからは利用する機会を考えたいです」とのお言葉を頂きました。

新曽のまちづくりが進むにつれてますますの発展が予想される芦原町会ですが、これからの取り組みがとても楽しみです。（早川・矢作）

戸田市ボランティア・市民活動支援センター オープン1周年を迎えます！

「戸田市ボランティア・市民活動支援センター」は7月1日に開設1周年を迎えます。当日は記念イベントも開催します。皆さん、お誘い合わせの上、遊びに来てください。

また、市民活動支援サイトの中身も充実してきました。市民なら自由に参加できるサイトです。市民の皆さんの団体登録をお願いします。ホームページのない市民活動団体の掲載もできますので、どうぞ情報発信にご活用ください。

アドレス <http://todasimin.net/>

センタースタッフによるブログもあります。 <http://blog.livedoor.jp/todashimin/>

【法人会員】 ニッケン建設(株)、戸田中央総合病院、ファミリーマート田中上戸田店、(有)古河屋(こが屋文具)、(株)平和不動産、戸田市商店会連合会、戸田市商工会、戸田市商業協同組合、戸田中央産院、中島孝雄税理士事務所、サポートセンター・ウィング、美笹商店会、(株)全通、(有)セルフ、(株)アイ・ライフ、(有)三京、戸田中央リハビリテーション病院、須藤歯科医院、(株)富岡製作所、喜沢一丁目商店会、(株)工房、五葉建材(株)、(株)池田紙工(株)KNDコーポレーション、(有)シーレックス、(有)福寿
(敬称略・順不同、平成19年5月1日現在)